国際ロータリー第２７００地区

２０２２～２０２３年度
第１回　クラブ研修リーダー研修

開 催 日 時　2021 年 12 月 4 日（土）13:00～16:00

場　　所　福岡商工会議所 ３Ｆ

ホストクラブ　小倉南ロータリークラブ

2022-2023年度 第1回 クラブ研修リーダー研修 プログラム

日時: 2021年12月4日(土)13:00～16:00
場所: 福岡商工会議所 3F

時刻	(時 間)		
13:00～13:02	(2分)	開会の言葉	次年度地区幹事 中島 伸一郎
13:02～13:12	(10分)	ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト 西島 英利
13:12～13:22	(10分)	研修リーダー講和	研修リーダー 古賀 英次
13:22～13:42	(20分)	CLPとDLP	地区研修委員 矢野 清博
13:42～14:02	(20分)	クラブの会員基盤向上 クラブの目標作成	地区研修委員 鈴木 公利
14:02～14:12	(10分)	RLI	地区研修委員 大塚 誠之
14:12～14:22	(10分)	休憩	
14:22～14:42	(20分)	地区のIT化について	地区研修委員 柳井 慎己
14:42～15:22	(40分)	クラブ研修リーダー研修	地区研修委員 吉行 亮二
15:22～15:32	(10分)	質疑応答	
15:32～15:52	(20分)	講評	地区研修委員会 カウンセラー 安増 惇夫
15:52～15:53	(1分)	閉会の言葉	小倉南RC会長 越智 英雄

西島年度におけるガバナー補佐の年間行事

2021.11.24 現在

01	２０２１年１１月０６日（土） 13：30～15：30 リーガロイヤルホテル小倉	**ガバナー補佐会議** ＊西島 GE からガバナー補佐へ ＊古賀研修リーダー講話 ＊公式訪問日程調整依頼　＊IM 日程調整依頼 ＊担当クラブの概要調査依頼(調査票記入) ＊ガバナー事務局連絡事項
02	２０２１年１２月４日（土） 13：30～17：30 福岡商工会議所 ※コロナ対応開催を検討中	**クラブ研修リーダー研修** ＊古賀研修リーダー講話
03	~~２０２２年０２月 25 日（金）~~ ２０２２年０３月 12 日（土） ※変更になりました 13：30～18：00 リーガロイヤルホテル小倉 ※会議終了後懇親会検討中 ※コロナ対応開催を検討中	**地区チーム研修セミナー** ＊西島 GE より国際協議会参加報告 ＊西島年度方針表明・地区委員長への要望 ＊公式訪問日程発表 ＊次年度予算作成方針と予算案提示 ＊地区委員長とガバナー補佐の顔合せ
04	２０２２年０３月 03 日（木） 13：30～16：30 リーガロイヤルホテル小倉 ※コロナ対応開催を検討中	**クラブ研修リーダー研修** ＊古賀研修リーダー講話
05	~~２０２２年０３月 12 日（土）~~ ２０２２年０３月 22 日（火） ※変更になりました 13：30～18：30 リーガロイヤルホテル小倉 ※コロナ対応開催を検討中	**会長エレクト研修セミナー（PETS）** ＊西島 GE より国際協議会参加報告 ＊西島年度方針表明・会長エレクトへの要望 ＊次年度予算案提示 ＊グループ別協議と結果報告（進行と報告：G 補佐）
06	２０２２年０５月２１日 13：00～18：00 アクロス福岡 ※コロナ対応開催を検討中	**地区研修・協議会** ＊西島年度方針発表 ＊部門別協議と結果報告（進行と報告：地区役員） ＊次年度予算採択
07	２０２２年０６月１８日（土） 14：00～16：30 リーガロイヤルホテル小倉 ※会議終了後懇親会検討中 ※コロナ対応開催を検討中	**地区役職者会議** ＊地区委員長・G 補佐の次年度活動計画の確認 ＊地区役職者の結束確認とモチベーション高揚
08	２０２２年０７月～０８月末	次年度ガバナー補佐の選出
09	２０２２年０７月～１１月	**西島ガバナー公式訪問** ＊公式訪問に先立ち担当クラブのクラブ協議会に出席 ＊公式訪問に随行
10	２０２２年０９月～１０月末	次年度地区委員長の選出支援（相談があれば）
11	２０２２年１１月～翌年０１月末	次年度地区委員の選出支援（相談があれば）
12	２０２３年０１月～０３月	**ＩM開催** ※ガバナー補佐主催のイベント ※原則土曜日の午後開催 ※午前中に 2700 地区の新会員を集めた研修を開催

		＜地区研修委員会主催＞ ※日程は他行事との重複を避けるためＧ事務局が指定
13	２０２３年０４月２２日（土） ２３日（日） 国際会議場・リーガロイヤルホテル(一部) ※コロナ対応開催を検討中	**地区大会** ※前日に親睦ゴルフ大会を開催（門司ＧＣ） ※大会初日の行事終了後に晩餐会を開催予定

●任期を通して、地区委員長主催の全クラブを対象としたセミナーに出席してください。
●任期を通して、担当クラブの周年行事に出席してください。
●任期中に、西島ガバナーとの懇談会(非公式、日程未定)を開催しますので出席してください。

第1回クラブ研修リーダー研修

2022-2023年
国際ロータリー第2700地区
地区研修リーダー
地区研修委員長

古賀　英次（柳川RC）

2021年12月4日（土）

ロータリーの全体の流れ

RI戦略計画（5年間）
↕
RI会長テーマ・メッセージ
↕
2700地区戦略計画（5年間）
↕
ガバナーの年度方針
↕
クラブ戦略計画（3～5年間）
↕
クラブ会長の年度方針
↕
クラブ会員
↕
奉仕活動の成果

2022-2023年度 国際ロータリー会長

ジェニファー　E. ジョーンズ
カナダ・オンタリオ州:ウィンザー・ローズランドRC

115年のロータリー歴史上、初の女性井会長

【職業】
カナダ・オンタリオ州ウィンザー　所在
Media Street Productions Inc.
創業者兼社長（テレビ・ビデオ制作会社）
【経歴】
ウィンザー大学　理事長
ウィンザー・エセックス地域商工会議所　会頭

ジェニファー・ジョーンズ ビジョンと目標 ①

「自分が望むような社会で暮らしたいのなら、あなたもその社会づくりに携わなければならない」。これは私の一番下の弟の言葉ですが、これは私たちの存在、そして私たちの活動の核心に迫るものです。

今の私たちはロータリーの創設者たちが推進したこと、つまりロータリーの中核的価値観、ロータリーの目的、そして四つのテストに根ざしているはずです。これらは私たちがロータリアンであることの根幹をなす原則です。時代が変わろうとも、この原則はロータリアンにとって神聖な真実であり続けるのです。

ジェニファー・ジョーンズ ビジョンと目標 ②

私は、ロータリーは戦略計画に焦点を当てることで「より大きなインパクト」をもたらし、あらゆる年齢、性別、文化でロータリーファミリーの「参加者の基盤を広げる」ことで、持続可能な良い変化を生み出していると考えています。

新しい戦略的優先事項を検討するにあたり、近年の歴史の中でも紛れもなく最も重大な時期に、ロータリーの「適応力」が私たちの道しるべになろうとは誰も予想だにしていませんでした。世界は後退しましたが、私たちは進歩しました。

ジェニファー・ジョーンズ ビジョンと目標 ③

希望の兆しは最も困難な状況から生まれるものです。計量を重視した目標を基軸に、私はこの歴史的な状況を生かし、今日の現実を反映した機会を取り入れ、培い、人びとに伝えていきます。

私は世界的に認められたコミュニケーターとして、社会的チャンネルを通じてロータリーファミリーと直接対話ができる機会を設け、ポリオ根絶や環境の保全、ローターアクトの地位向上、ロータリーの成長といった最も差し迫った問題についての認識を高めていきます。

ジェニファー・ジョーンズ ビジョンと目標 ④

多様性、公平さ、開放性（DEI）を最優先とし、次に女性会員や40歳以下の会員を増加させるためには、このような会員構成がリーダー陣の構成にも反映される必要があります。どちらの目標でも2桁の成長を目指し、決してロータリーファミリー全体を見失うことがないようにします。

DEIサミットを開催し、会員全体のバランスを保つリーダーシップの機会を作り出すことで、「ロータリーの成長」を約束します。

RIの取組み

① RIの戦略計画

② 中核的価値観

③ ロータリーの人生哲学

RIの戦略計画（ロータリーのビジョン声明）

私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って
行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一歩のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらし、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。

国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、今後5年間の活動を方向づける4つの優先事項が定められました。

RIの戦略計画（ロータリーの戦略的優先事項と目的）

より大きなインパクトをもたらす
- ポリオを根絶し、残された資産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の基盤を広げる
- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリーへの新しい経路を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的なかかわりを促す
- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を高める
- 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

RIの戦略計画（ロータリーの中核的価値観）

今日の世界は、1905年の世界と同じでありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。

ロータリーの人生哲学（決議23-34）

ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。

この哲学は奉仕一「超我の奉仕」一の哲学であり、

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という

実践理論の原則に基づくものである。

Rotary 2700地区 奉仕プロジェクト タイトル

Think - global Act - local

シンク・グローバル アクト・ローカル

グローバル規模で考えて、地域に合わせて行動しよう

2021制定

ロータリーは世界140万人の仲間と共に
環境や教育の支援等に
ロータリー財団の7つの重点項目に沿って地域に合わせて行動しています

Act - local

2022-2023年 国際ロータリー 第2700地区 ガバナー

西島 英利

テーマと方針

2700地区の取組み

2700地区戦略計画
2020～2025年(5年間)

① My Rotaryの活用と推進

② DLPの定着

③ CLPの推進

④ 地区研修委員会の設置と実効的運営の定着

⑤ RLIの推進

⑥ 新クラブの結成

⑦ ロータリー財団と米山記念奨学会の地区目標を掲げるとともに、毎年の進捗状況を分析して、目標達成の道筋をガバナーエレクトに提案する。
財団 150＄ 30＄ 1人 180＄
米山 1人 17000円

クラブリーダーシップ・プラン(CLP)

クラブリーダーシップ・プランの目的は、ロータリークラブの強化を図ることである。

DLPに提示されているようにクラブのリーダーは地区リーダーと相談しながらCLPを導入して下さい。

クラブの活性化プランです。

CLPは毎年見直しが行われるべきである。
以下は、効果的なクラブの要素である。

①会員基盤を維持及び拡大する

②地元と他国の地域社会のニーズに取り組む充実したプロジェクトを実施する

③寄付及びプログラムの参加を通じて、ロータリー財団を支援する

④クラブの枠を超えてロータリーで奉仕できるリーダーを育成する

CLPを実施するために、現、次期、元、クラブリーダーは、以下を行って下さい。

19

①効果的なクラブの要素に取り組む長期的(戦略計画)な計画を立案する

②年次目標を設定し、ロータリークラブ・セントラルに入力する

③会員を計画過程に参加させ、ロータリーの活動に関する情報を伝えるためのクラブ協議会を実施する

④クラブ会長、理事会、委員会委員長、クラブ会員、地区ガバナー、ガバナー補佐及び地区委員会の間に明確なコミュニケーションが確実にはかれるようにする

⑤将来のリーダー育成を図るための引継ぎ計画の概念を含め、リーダーシップの継続性を確保する

Rotary

CLPを実施するために、現、次期、元、クラブリーダーは、以下を行って下さい。

20

⑥ クラブ委員会構成とクラブリーダーの役割と責務を反映させるべく細則に修正を加える

⑦ クラブ会員間の親睦を更に深めるような機会を提供する

⑧ 会員全員がクラブのプロジェクトや業務に活発に関与するようにする

⑨ 以下を確実にするための包括的な研修計画を立案し実施する

・クラブリーダーが適宜、地区研修会合に出席する （地区セミナー）

・新会員のために一貫したオリエンテーションを定期的に実施する （5年未満の研修）

・現会員のために継続的教育の機会を提供する （包括的な全会員への研修）

・全会員が指導力育成プログラムを受けることができるようにする （RLI等）

Rotary

クラブの各種委員会

21

クラブの各種委員会はクラブの年次目標と長期目標を実行する責務を負う。
会長エレクト、会長、直前会長が協力し、リーダーシップの一貫性と計画の継続性を図るべきである。

・継続性を図るため、可能であれば、委員会委員は3年を任期として任命されるべきである。

・会長エレクトは、任期が始まる前に委員会の空席を補填するために委員及び委員長を任命し、計画会議を設ける責務がある。

・委員長は、同じ委員会の委員としての経験を有していることが推奨されている。

・標準ロータリークラブ定款第10条に従って常任委員会を任命し、クラブの細則にこれを反映すべきである。

Rotary

22

研修の要件

→クラブ委員会委員長は就任する前に地区研修・協議会に出席して下さい。

地区リーダーシップチームとの関係

→クラブ委員会はガバナー補佐及び関連する地区委員会と協力して下さい。

報告要件

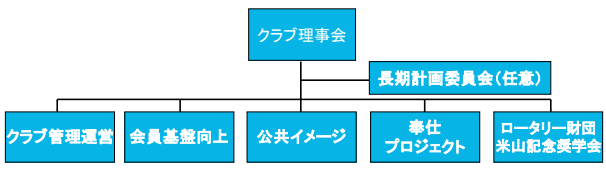
→クラブ委員会は適切であれば、活動についてクラブ理事会に定期的に報告し、クラブ協議会において報告して下さい。

（2016年9月理事会会合、決定28号）

Rotary

CLPのクラブ委員会構成例(30人前後の小規模クラブ)

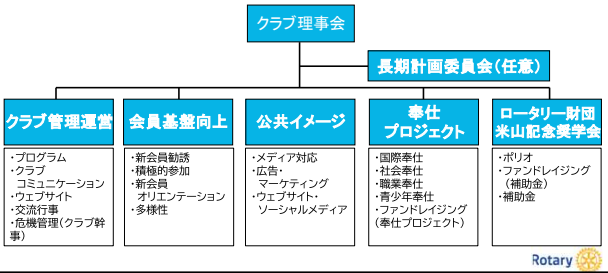
23



Rotary

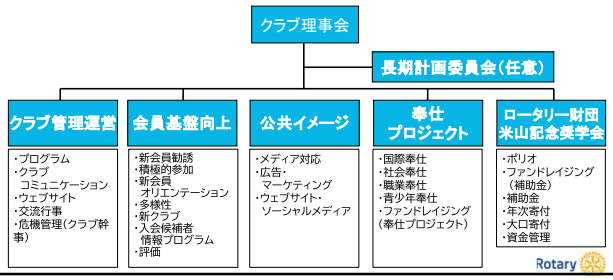
CLPのクラブ委員会構成例(60人前後の標準的なクラブ)

24



Rotary

CLPのクラブ委員会構成例(70人以上の大規模なクラブ)



クラブレベルの研修

① クラブ研修リーダーの誕生

② クラブ研修リーダー

③ クラブの研修プラン

④ クラブ指導者育成セミナー

① クラブ研修リーダーの誕生

2004年11月 RI理事会は
「効果的なロータリークラブの管理」の方法として
CLPの取組みを 世界中のクラブに推奨しました。
CLPは「クラブ活性化プラン」です。

2006年11月 RI理事会は
クラブ会長エレクトは 次年度クラブの研修プランを
監督する「クラブ研修リーダー」を 任命する事が出来る。
クラブ研修リーダーは、全ての研修ニーズが満たされるように
クラブ理事会等や地区研修委員会等と協力しなければならない。

② クラブ研修リーダー

1) 任命
クラブ会長エレクトは、
クラブの研修プランを監督するクラブ研修リーダーを1名任命できる。

2) 任期
クラブ研修リーダーの任期は1年であり、連続で3期まで就任できる。

3) 協力
クラブ研修リーダーは、すべての研修ニーズが満たされるよう
クラブ理事会および各種委員会と協力し、
また、支援とアイデアを得るために地区研修委員会、クラブを担当するガバナー補佐、
地区ガバナーと協力して下さい。

③ クラブの研修プラン

クラブは以下を確実にするための包括的研修プランを有しなければならない。

1) クラブリーダーが、適宜、地区研修会合に出席する。
(地区研修委員会等の研修会・セミナーへ計画的にクラブ会員が出席する計画を作ること)

2) 新会員のために一貫したオリエンテーションを定期的に実施する。
(クラブの入会5年未満の会員のためのオリエンテーション・研修会を年5回ほど行う)

③ クラブの研修プラン

3）現会員のために継続的教育の機会を提供する。
（クラブ会員全員を対象としたクラブ会員のレベル向上を目的とした
包括的研修計画を作り、実施する）

4）全会員が指導力育成プログラムを受けることができるようにする。
（クラブを超えたリーダーを育成するために計画的にRLI・DLを受講させて下さい）

Rotary

④ クラブ指導者育成セミナー

目 的）クラブ会員の指導力を育成することで、職業における日々の仕事を充実させ、
将来のクラブリーダーを育成すること。

参加者）クラブの関心のあるロータリアン

推奨される議題）

・コミュニケーションスキル　・指導方法　・ボランティアの指導と意欲喚起
・メンタリング（個人指導）　・時間管理　・目標設定と説明責任
・戦略計画の立案　・倫理（四つのテスト）
・統一見解の構築　・チームワーク

組織者）クラブ研修リーダー、クラブ会長、ガバナー補佐、地区研修委員会

2006年11月理事会会合、決定107号

Rotary

CLPに基づいたクラブ研修計画作成の流れ

①2021年12月4日 クラブ研修リーダー研修会	②2022年3月3日 クラブ研修リーダー研修会	③2022年3月12日 PETS	④2022年7月1日 新年度スタート
CLPに基づいたクラブ研修計画を作成するための研修。 会長・幹事・クラブ長期計画委員長にも参加してもらう。 クラブでクラブ研修計画の大枠を作成する。（会長エレクト・幹事エレクト・クラブ長期計画委員長・クラブ研修リーダー合意の下に行う）	CLPに基づいたクラブ研修計画の作成を具体的に作成するための研修。 ≪参加対象者≫ クラブ研修リーダーは必ず出席。できれば、会長エレクト・幹事エレクト・クラブ長期計画委員長にも参加して頂く。 クラブ研修計画を完成させる。	グループ別分科会で発表を行う。	ガバナー補佐はクラブ訪問毎に、目標達成状況を確認し、達成の支援とガバナーへの報告を行う。

1年間の目標を達成させる

Rotary

ご清聴ありがとうございました

2021年12月4日（土）
福岡商工会議所

2022-2023年
国際ロータリー第2700地区
地区研修リーダー
地区研修委員長

古賀　英次（柳川RC）

クラブ研修リーダー研修

会長エレクトに期待された貴方
包括的研修プラン作成と実施の重要性

地区研修委員　甘木RC　矢野清博

令和３年12月4日

はじめに

ロータリーに入会すると３つの課題があると言われています。

１の課題　ロータリーの真の意味が理解できているか？
（ロータリーの心や理念）

２の課題　現在のロータリー活動状況を理解しているか？

３の課題　ロータリーはこのままでよいのだろうか？

研修の項目

① CLP導入の重要性について

② クラブ研修リーダーの誕生の秘密

③ ４つのクラブ研修プラン作成について

④ クラブ指導者育成セミナーとは

⑤ クラブの研修計画と実施の重要性

CLP導入の重要性

２００４年１１月に効果的なクラブ管理の枠組みとして、
CLPの採用をRI理事会は決定いたしました。

CLPを解り易く言うとクラブの活性化プランであり、その主たるものは組織再編です。　それは、会員数の少ない弱小クラブでも、奉仕団体として自立していくための最小限の管理組織（５つの常設委員会）を設けてはどうか、また会員規模の大きなクラブもこの常設委員会を設け、さらに小委員会を付加することが出来ると言う管理組織を想定したものが、RI理事会が提唱した、クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）と言われているものです。

クラブ研修リーダーの誕生の秘密

クラブ研修リーダーはどのようにして誕生したのか？
制度だけで言うと・・・・
２００６年１１月理事会決定事項　R章典（８．０９０．１）

クラブ会長エレクトは、次年度にクラブの研修プランを監督するクラブ研修リーダーを任命することが出来る。　研修リーダーの任期は一期一年であり、連続して三期務めることが出来る。

クラブ研修リーダーは全ての研修ニーズが満たされるようクラブ理事会及び各種委員会と協力し、また、支援とアイデアを得るために、地区研修委員会と、クラブを担当するガバナー補佐、地区ガバナーと協力しなければならない。

研修リーダーの誕生はロータリーの本質

クラブ研修リーダーの誕生は、ロータリーの本質である『地域の人々の生活を改善したいと言う情熱を社会事業に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク』であると言っています。つまり奉仕活動の世界的ネットワークを構成する１単位としてのロータリークラブが基本的な力をつけなければネットワークを充分に機能させることが出来ないと判断してクラブ会員研修を実施するためのクラブ研修リーダーを誕生させたのではないでしょうか？

これまではロータリー情報委員会がロータリーの歴史、理念を伝達・研修していました。しかし、一方的に伝達されるだけでは情報を得たロータリアンが実践の重要性に目覚めていない、必然的な奉仕活動につながる成果を出していない。等々によりクラブ研修リーダー及び、クラブ研修委員会の存在を希望したのではないかと思います。

４つのクラブ研修プラン

（２００６年１１月理事会決定）R章典（８．０９０．１）

クラブは、以下を確実にするための包括的研修プランを作成すべきである。

① クラブ指導者が適宜、地区研修会会合に出席する

② 新会員のために一貫したオリエンテーションを定期的に実施する

③ 現会員のために継続的教育の機会を提供する。

④ 全会員が指導力育成プログラムを受けることが出来るようにする

クラブ指導者育成セミナー

（２００６年１１月理事会決定）R章典（８．０９０．３）

目的 クラブ会員の指導力を育成することで、職業における日々の仕事を充実させ、将来のクラブ指導者を育成すること

参加者 関心のあるロータリアン

推奨される議題（RIの推奨テーマ）

①コミニケション技能　②指導方法
③ボランティアの指導と意欲喚起　④個人指導
⑤時間管理　⑥目標設定と説明責任
⑦長期計画　⑧倫理（４つのテスト）
⑨統一見解の構築　⑩チームワーク

クラブ研修リーダー、クラブ会長、ガバナー補佐、地区研修委員会

クラブ指導者育成セミナー

２７００地区推奨テーマ

①クラブのあるべき姿作り（こうありたいクラブ）
②効果的な公共イメージ作り
③奉仕活動プログラムについて
④ロータリー財団・米山奨学会のプログラムについて
⑤ロータリーの歴史や理念について
⑥各地域の課題について
⑦RIのテーマについて

クラブ研修リーダー、クラブ会長、ガバナー補佐、地区研修委員会

計画立案と実施

1，**ニーズ調査**
①クラブとしての目標
②会員が望んでいる事

2，**評価**
参加者にアンケートを実施し、今後の計画に反映させる。

3，**フォローアップ**
実施後に個人指導やフォロー研修（半年後や１年後）を計画する。

クラブの研修計画と実践

貴方（クラブ研修リーダー）は何のために新しくクラブに存在して、会長エレクト、RI,地区から、どのような期待をされているのを考える良い機会になったのではないでしょうか？

包括的研修プラン作成とは思いつきや、スポット的な研修計画ではなく、必ずクラブの現状、クラブのビジョン等を評価、考慮した上でロータリー全分野にわたって計画的かつ体系的な研修計画を構築する必要があると思います。

困ったときは地区研修委員会に、クラブを担当するガバナー補佐にプラン作りを相談してください。

最も大切なことは実践することです。

ご静聴ありがとうございました。

頑張れ！　クラブ研修リーダーの皆様

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

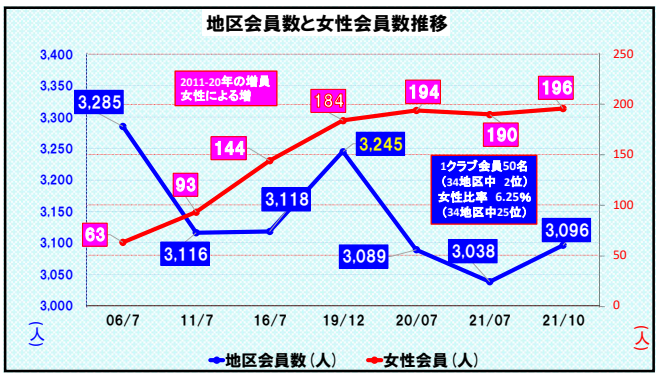
Rotary

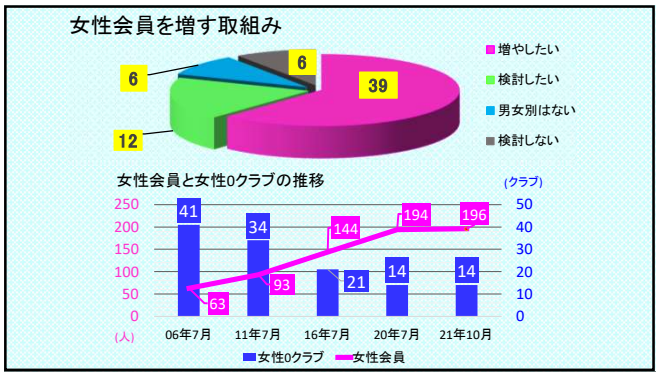
ロータリーは機会の扉を開く

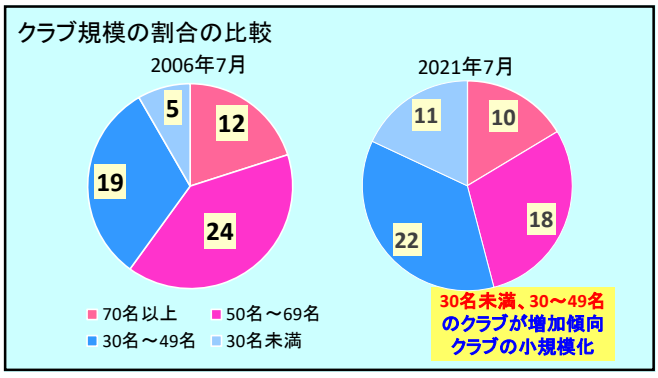
会員基盤の現状とCLPの導入事例

～クラブ研修リーダー研修　2021年12月4日～

2020-2021　地区　研修委員
会員基盤向上部門
鈴木 公利(苅田RC)







21-22年度　貫ガバナー　メッセージ

『取り組もう　基盤強化と超我の奉仕』

重点目標　1　『2700地区の会員増強』

目標値　2022年7月会員数　3400人

2021年2月1日会員数×1.08 (RI会長2022年目標130万人)

重点目標　3　『クラブ戦略(CLP)の策定・実施』

2021年2月と2021年9月現在の会員数の増減

	クラブ名	22年7月会員数目標値	21年2月現在会員数	21年9月末現在会員数	21年9月－21年2月	現在－目標値
1	大牟田北	41	34	40	6	▲ 1
2	福岡東(衛星含む)	102	83	88	5	▲ 14
3	久留米	90	83	87	4	▲ 3
4	八幡西	51	46	49	3	▲ 2
5	小倉東	105	97	99	2	▲ 6
6	大宰府	55	45	47	2	▲ 8
7	戸畑東	26	24	25	1	▲ 1
8	若松	22	19	20	1	▲ 2
9	久留米中央	45	40	41	1	▲ 4
10	大川	40	36	37	1	▲ 3

2021年2月と2021年9月現在の会員数の増減

	クラブ名	22年7月 会員数 目標値	21年2月 現在 会員数	21年9月末 現在 会員数	21年9月 － 21年2月	現在－目標値
11	豊前西	11	9	9	0	▲2
12	苅田	39	34	34	0	▲5
13	行橋	51	47	47	0	▲4
14	小倉	73	67	67	0	▲6
15	小倉中央	40	38	38	0	▲2
16	小倉南	65	60	60	0	▲5
17	門司西	43	40	40	0	▲3
18	戸畑	22	22	22	0	0
19	博多ｲﾌﾞﾆﾝｸﾞ	60	55	55	0	▲5
20	福岡城東	28	25	25	0	▲3
21	壱岐	46	42	42	0	▲4
22	鳥栖	68	64	64	0	▲4
23	筑後	30	29	29	0	▲1
24	久留米南部	8	6	6	0	▲2
25	八女	28	24	24	0	▲4
26	田川	50	40	39	▲1	▲11
27	若松中央	27	25	24	▲1	▲3
28	直方中央	35	33	32	▲1	▲3
29	遠賀	52	49	48	▲1	▲4
30	八幡	54	51	50	▲1	▲4
31	福岡城南	57	52	51	▲1	▲6
32	対馬	22	20	19	▲1	▲3
33	福岡中央（衛星含む）	70	61	60	▲1	▲10
34	博多	60	55	54	▲1	▲6
35	大牟田	65	59	58	▲1	▲7
36	門司	35	34	32	▲2	▲3
37	直方	43	40	38	▲2	▲5
38	福岡南	100	92	90	▲2	▲10
39	福岡東南	79	73	71	▲2	▲8
40	宗像	50	43	41	▲2	▲9
41	糸島	60	57	55	▲2	▲5

2021年2月と2021年9月現在の会員数の増減

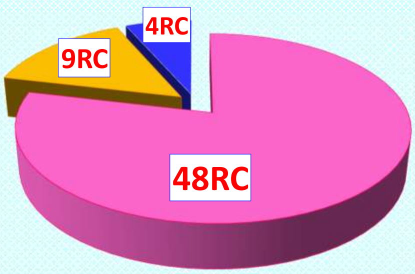
	クラブ名	22年7月 会員数 目標値	21年2月 現在 会員数	21年9月末 現在 会員数	21年9月 － 21年2月	現在－目標値
42	甘木	60	59	57	▲2	▲3
43	久留米東	79	76	74	▲2	▲5
44	大牟田南	29	26	24	▲2	▲5
45	行橋みやこ	61	57	54	▲3	▲7
46	小倉西	50	44	41	▲3	▲9
47	八幡中央	60	58	55	▲3	▲5
48	八幡南	52	48	45	▲3	▲7
49	[illegible]	[illegible]	[illegible]	31	▲4	▲8
50	[illegible]	[illegible]	[illegible]	8	▲4	▲7
51	[illegible]	[illegible]	[illegible]	4	▲4	▲6
52	[illegible]	[illegible]	[illegible]	8	▲4	▲9
53	[illegible]	[illegible]	[illegible]	9	▲4	▲9
54	[illegible]	[illegible]	[illegible]	30	▲5	▲5
55	[illegible]	[illegible]	[illegible]	0	▲5	▲10
56	[illegible]	[illegible]	[illegible]	38	▲5	▲7
57	[illegible]	[illegible]	[illegible]	1	▲5	▲7
58	[illegible]	[illegible]	[illegible]	1	▲5	▲10
59	[illegible]	[illegible]	[illegible]	3	▲6	▲11
60	[illegible]	[illegible]	[illegible]	6	▲6	▲3
61	[illegible]	[illegible]	[illegible]	9	▲8	▲7
		3,406	3,154	3,075	▲79	▲331

21年9月末会員数ー21年2月会員数

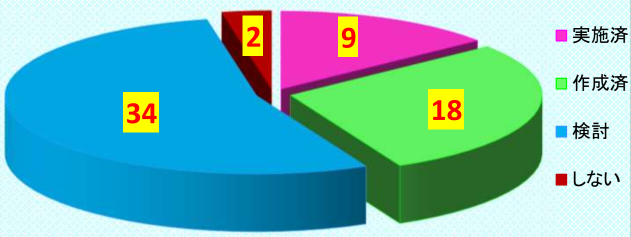
増減なし 15RC　　2名未満減 19RC

3～4名減 9RC　　5～8名減 8RC

長期計画委員会の設立調査 (2021年1月地区研修委員会調査)



CLPの長期計画の策定と実施(2021年5月クラブアンケート)



導入が進んでいないクラブの事情

●会員規模が大きいクラブの傾向
CPLで行う『5つの常任委員会の集約』は、
クラブの小規模化の対応策なので導入しない

●導入するための会員の理解が得られない

●導入するために**何をすればいいのか**わからない

CLPで行うクラブの5つの重点取組み事項

1. クラブの長期計画の立案　(長期計画委員会)

2. 計画の継続 (3～5年、定期的な活動評価と見直し)

3. 意思決定の全員のコンセンサス、活動への全員参加

4. 委員会構成とクラブ指導者の役割と責務を反映させるべく
クラブ細則を改正

5. リーダーシップを発揮できる会員の育成
(会員研修、RLIへの参加 ： クラブ研修リーダー)

長期計画立案までのプロセス

My Rotayのチェックシートの活用　【戦略(長期)計画立案ガイド】

第1段階：現状の分析
クラブの現状はどうか？
- クラブの強みと弱みを把握する
- 会員の満足度とニーズを調べる
- MyRotary「会員満足度調査」等を活用

第2段階：Visionの作成
どのようなクラブになりたいのか？
- クラブが実現したい特徴を5～7つ挙げる
- ビジョン声明をつくる

第3段階：計画の作成
どのようにVisionを実現できるか？
- 4つの戦略的優先事項、目標設定
- 年次目標を立てる
- 活動項目、実行項目等に必要なリソースを挙げる

第4段階：進捗の確認
目標への進み具合はどうか？
- 年次目標に向けた進捗を確認する
- 目標を達成できなかった場合、その理由を特定する
- 行動計画を見直し、調整する

第3段階：計画の作成　どのようにVisionを実現できるか？
「4つの戦略的優先事項に基づく目標設定」

「参加者の基盤を広げる」	➡「会員の増強」
「参加者の積極的なかかわりを促す」	➡ 地域社会のニーズに基づいた「充実した奉仕PJ」の実施
「より大きなインパクトをもたらす」	➡「R財団 米山への支援と活用」
「適応力を高める」	➡ クラブ枠を超えロータリーで奉仕できる「リーダーの育成」する研修の実施

CLP 1．組織変更の組立　2020.01
CLP 2．定款細則の修正　2020.03
CLP 3．クラブを分析　2020.0.4
CLP 4．目標と目的(方針)の策定　2020.06

太宰府RC の CLP
導入事例紹介
9月4日　クラブ活性化セミナー
塩月直前会長

新年度の前に、辿った軌跡
CLPの4つのステップ

CLP 1 組織変更の組立
2020.1月　既存の委員会を当てはめた。

1．SAA・出席・親睦・プログラム	➡ クラブ運営
2．会員増強・会員選考・職業分類・会員研修	➡ 会員基盤
CLPの5つの常設部門委員会	➡ 会報・広報
長期計画委員会の設置	➡ 奉仕
5．Rotary財団・補助金PJ・米山奨学会	➡ 財団・米山
6．長期計画	➡ 長期計画

CLP 2
2020.3月
定款細則の修正

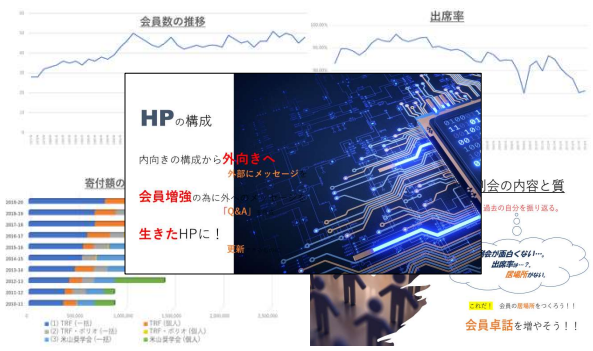
定款細則の修正に着手

クラブの活動のマニュアルとして、使えるように！

5つの委員会部門、長期計画委員会の役割と、活動計画と目標の設定、年度内にやるべきことを明文化

CLP 3
2020.4月
クラブの分析

- 会員数の推移
- 出席率の推移
- 寄付額の推移(R財団、米山)
- 例会の内容
- 職業分類
- HPの在り方



CLP 4 【目標の策定】

2020.6月

会員増強	➡	５名以上
出席率	➡	出席率95%以上
例　会	➡	会員卓話を20名以上**自慢話を!**
HPのリメイク	➡	外向きの広報に
My Rotaryの登録	➡	100%登録
ニコニコ箱	➡	年間100万円
奉仕委員会	➡	新規の奉仕活動を
寄　　付	➡	前年実績 200万円を 300万円

役員・理事

役員は、従来どおり

理事は、**常任委員長**のみ。

理事会（役員・理事）の数を減らした。

常任委員長が統括する。

役　　員	
会　　長	塩月啓司
副会長	前田健吾
幹　　事	牧田　隆
副幹事	福田隆一
会　　計	影山裕樹
直前会長	上田　宰

理　　事	
クラブ運営	浦田秀徳
会員基盤	田代雅人
会報・広報	原口昌夫
奉　　仕	阿部隆雄
財団・米山	用松信彦
長期計画	時札正文

配 置

1．ピラミッド構造に。

・役員（会長・幹事他）
・理事（常任委員長）
・特定分野委員長・委員長
・会員（委員）

2．常任委員長がキーマン！

6つの常任委員長の職務は、
ロータリーの概念を全て網羅しているので、
会長は、この６名と協議してクラブ運営を。

常任委員会	常任委員長	特定分野委員会 担当	特定分野委員長	副委員長 担当	委　員		
クラブ運営	浦田秀徳	S・A・A	有村康博	時札正文	石井清輝	鹿島脩一	森田正嗣
		出　席	神代恵晩	天野　繁	中西孝昌	三條裕士	満永淳子
		親　睦	本橋利勝	岡本ゆかり	萩尾紘一	中西孝昌	東　龍児
		プログラム	—	神代恵晩			
会員基盤	田代雅人	会員増強	井上孫紹	下成正一			
		会員選考	—	影山裕樹			
		職業分類	—	北田　織			
		会員研修	—	田代雅人			
		Rotary情報	—	中西英貴			
会報・広報	原口昌夫	速　報	—	影山裕樹	本田敦子		
		情 報 誌	—	関野正衛	満永淳子		
		広報・公共 ｲﾒｰｼﾞ・WEB	—	原口昌夫	三條裕士		
奉　仕	阿部隆雄	職業奉仕	成川禎道	安東俊夫	山田　眞		
		社会奉仕	馬場宣行	武宮兼敏	圓藤泰久	鬼木信乃夫	
		青少年奉仕	西中義桂	川添廣志	長井士郎	吉田知子	
		国際奉仕	阿部隆雄	新田光之助	今村次美		
財団・米山	用松信彦	Rotary財団	—	用松信彦	東　龍児		
		補助金PJ・ポリオ	—	北田　織	福田隆一		
		米山奨学会	—	津田穎彦	今村次美		
長期計画	時札正文	—	—	前田健吾	影山裕樹	上田　宰	塩月啓司
					牧田　隆	福田隆一	

会長として、心掛けていた事

1．例会での**会長挨拶**の時間は、ほぼ**ロータリー**に関する内容に。
　※内容はロータリーの理念など、My Rotaryからの拾い物。
2．話す目線を**新入会員に。**新入会員がわかるように。
3．各委員会へのお願いは、基本的に、**常任委員長**(6名)へ。
4．コロナで休会になった時の対応（10回例会が休会に）
　休会中の例会日に全会員に、メールで**会長挨拶を送信**。
5．会員卓話は思いっきり「**自慢話**をして下さい！」と。
6．目標数値の達成などの**途中報告**してもらうように声掛けを。
7．「**クラブ運営方針書**」に始まり、「**年間活動報告書**」で終わる。

変化 した事

出席率の報告（毎 例会にて）	➡ **出席の意識の向上。**
会員卓話の実施、職業分類を見直し	➡ **帰属意識の向上。**
寄付の目標、方法の説明	➡ **寄付への関心。**
常任委員長の意識付け	➡ **委員会をまとめる意識**
各委員会の目標提示	➡ **数値を意識！**

常任委員長が枠に囚われず、アイディアを出し合うようになり、

クラブ全体が活性化した。

実績

My Rotary ➡ **100%登録** 完了。
HPの変更 ➡ 外向きを意識した変更。**Q&A**を作成。
ニコニコ箱 ➡ 目標額の100万円➡75万円
例会実施率が76%なので、ほぼ**達成**。

新事業 ➡ （社会奉仕）**非接触型体温計**を自治体へ寄付。
（職業奉仕）**優良社員表彰**。
（職業分類）**職業分類基準表**の作成。
（会員増強）候補者5名の招待。コロナ退会の会員サポート。入会者1名で、未達。
（共　　通）**道下美里選手 激励会**

まとめ

CLPとは…

組織変更のみではなく、
クラブを見直して、
何をするか、何を目指すか、
目標と目的を定めて、実行すること。

「**ともに ひらめき きらめく！**」

リーダーは、まず会長。

更に、**多くのリーダーが出る**ように！

RID2790　崎山征雄PDG（習志野中央）
私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動を
するためには【会員満足度の向上】、
ロータリアン一人一人が、ロータリーを本当に理解し、
自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションを
活発にして、元気なクラブ作りにつなげて行く必要がある。

クラブ　リーダーシップ　プラン

Rotary

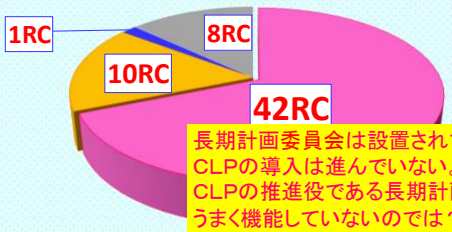
会員基盤の現状とCLPの導入事例

ご清聴有難うございました

2021-2022年度　RID2700
研　修　委　員
会員基盤向上委員長　鈴木 公利

以下、捕捉資料

長期計画委員会の設立調査　(9月25日現在)



長期計画委員会は設置されているが、
CLPの導入は進んでいない。
CLPの推進役である長期計画委員会が
うまく機能していないのでは？

■設置済み　■予定あり　■予定なし　■回答無し

RIが、CLPを推奨を打ち出した経緯

☆クラブの小規模化 ⇒ クラブ存続の危機感

会員数に応じた、より効率的なクラブ運営管理と、組織の集約（大規模クラブは増設）が必要

☆単年度制の弊害 ⇒ 年度またがる計画・プロジェクト等の継続不可

よりインパクトのある奉仕プロジェクト実施するための中長期計画を担うチーム、仕組みづくりが必要

ＣＬＰ Club Leadership Plan

元気なクラブ作りのために

ＣＬＰ：クラブ・リーダーシップ・プランの目的は？

効果的なクラブの管理を実施 することにより、

クラブの強化を図る ことにあります。

〇2004年11月の RI理事会 で決定され、 5大奉仕の大原則を変えるものではなく、クラブに強要するものではありません。

〇CLPは、多くの地区で、**元気なクラブづくり、クラブの活性化** の手段として推奨され、成果を上げています

CLPで行うクラブが取組むべき10の事項

1. **「効果的なクラブの要素」に取り組む長期計画を立案** する
2. **長期計画に基づいて、年次ごとの目標と計画を設定** する
   (ロータリークラブ・セントラルに目標入力する)
3. 計画過程に参加する会員を含めてクラブ協議会を実施し、**計画の活動状況を伝える**
4. クラブ役員、クラブ会員、地区指導者の間の明確なコミュニケーション（意思の疎通）を保つ
5. 年度ごとに引継ぎ計画を含め、進捗状況の確認、計画の見直しを行い、クラブの指導力と奉仕プ ロジェクトに継続性をもたせる

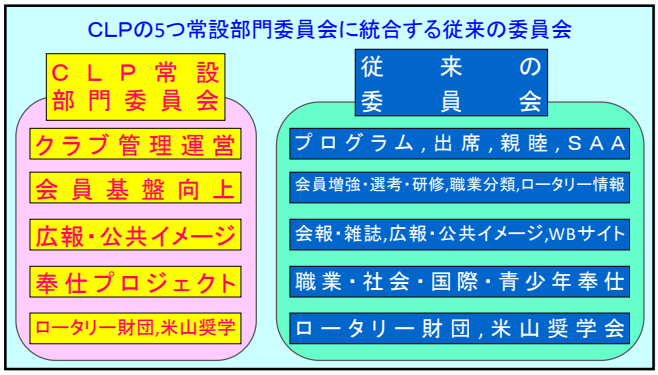
CLPで行うクラブが取組むべき10の事項

6. クラブ委員会構成とクラブ指導者の役割と 責務を反映させるべく、**クラブ細則を改正 する**
7. **クラブ会員の親睦**をさらに深めるような機会を提供する
8. **会員全員が**クラブのプロジェクトや業務に **活発に関与するよう計らう**
9. 年間計画と一緒に **包括的な研修** を企画する
10. **クラブ運営に必要な委員会を設置する**
    (各委員会委員は計画の継続性を図るため、委員は3年任期が望ましい)

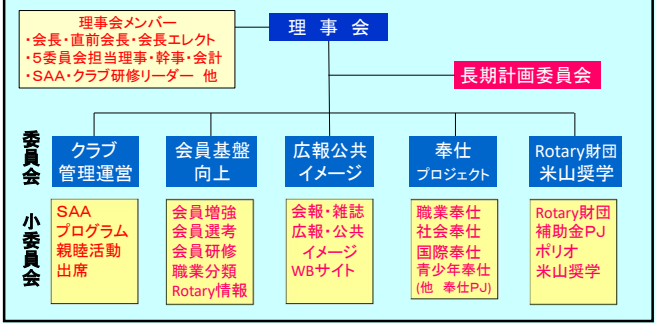
CLPの5つ常設委員会

クラブ管理運営	クラブの効果的な運営に関する活動の実施
会員基盤向上	会員増強・維持に関する包括的な計画立案と実施
広報・公共イメージ	会報週報の発行と、地域社会への広報の推進
奉仕プロジェクト	地域社会のニーズを取り込んだ奉仕PJの実施
R財団・米山奨学	寄付、プログラムの参加を通じた支援の計画と実施

CLPの5つ常設部門委員会に統合する従来の委員会



CLPが推奨する標準的なクラブの委員会構成例



長期計画委員会の目的

- ○ RIのビジョン、地区5か年計画を反映させたクラブビジョンの作成
- ○ クラブビジョンを達成するための、3～5年間の長期計画を立案し行動計画の進捗を管理して、会員への定期的な報告を行う

長期計画委員会の編成

- ○ 元・現・次期クラブリーダー(会長、幹事、理事経験者)、クラブ研修リーダー
- ○ 様々な意見を集めるために、多様な経験や専門知識を有する会員や、クラブプログラムに意欲的に参加している若手会員
- ○ 任期は数年間として、継続性が図れるよう、チーム委員の半数以上の入替は行ない

第1段階 1.クラブの現状分析をするには My Rotay を活用

データの活用	【Club Central】	5年間クラブの数値的データ 会員傾向、男女比率、年齢の傾向 年次寄付の傾向 を地区の傾向と比較
	【その他データーの収集】	出席率の傾向 奉仕奉仕PJの推移
チェックシートを活用	【クラブの健康度チェック】	全会員を対象 問題点、対処法を検討
	【会員満足度調査】	長期計画委員会 クラブ運営の会員満足度 会員有志を対象 を把握する
	【クラブ自己評価表】 (RLI-Part Ⅲ-Section1)	長期計画委員会 クラブ管理、会員、R財団、奉仕 会員有志を対象 広報の活動を自己採点する

第1段階 現状分析から見た問題と課題を上げる

ワークシートの活用

- 【戦略(長期)計立案ガイド】
- 【戦略計画立案ワークシート】

（1） クラブを特徴づける長所・短所を特定

（2） クラブの最優先課題を特定

長所・短所を踏まえた取組みたい重要な課題を抽出する
切り口として‥‥RIの戦略的4つの優先事項の観点から検討

（3） 地域社会にある機会の課題を特定

第1段階 現状分析から見た問題と課題を挙げる ②

My Rotay

- 【戦略(長期)計立案ガイド】
- 【戦略計画立案ワークシート】
- 【クラブ自己評価表 (RLI-Part Ⅲ-Section1)】

第2段階　（クラブ）ビジョンの作成 ①

（1） 3～5年後のクラブの特徴を挙げる

○ どのような特徴をもったクラブになっているのか

3～5年後の未来の特徴を5～7項目挙げる

【クラブの問題点・課題が解決したクラブの特徴】

ヒント

・ロータリーのビジョン声明

・ロータリーの戦略的優先事項と目的

第2段階　（クラブ）ビジョンの作成 ②

（2） クラブのビジョン声明をつくる（クラブの旗印）

○ビジョン声明

将来のクラブの特徴(5～7項目)を1つの文にする

3～5年後に実現したいことを表明し、
クラブのあるべき姿を目指す方向性を示すもの

- 3～5年後のクラブの特徴、独自性を表現をする
- 3～5年後の理想とするクラブの姿を明確しているか？
- クラブ全会員の支持を得ることができるか？

第3段階　計画の作成（どのようにビジョンを実現するか?）

（1）4つの戦略的(長期計画) 優先事項を挙げる

ビジョンを「どのように達成するか」、最も大きな成果があると思われる4つの事項を挙げる

RIの４つの戦略的優先事項

より大きなインパクトをもたらす
参加者の基盤を広げる
参加者の積極的なかかわりを促す
適応応力を高める
＋ロータリーの中核的価値観

4つの優先事項に絞るポイント

クラブを特徴づける長所・短所
クラブの最優先課題
地域社会にある機会との取組み
3～5年後のクラブの特徴
RI戦略計画・地区5ケ年計画の目標
クラブ会員の意見

（2）4つの優先事項の年次目標を立てる

優先項目 1.

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成時期

優先項目 2.

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成時期

優先項目 3.

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成時期

優先項目 4.

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成時期

4つの優先事項を達成するための目標

① 年次ごとの目標
② 実行項目
③ 必要なリソース・人材
④ 担当する会員
⑤ 達成時期

・・・ロータリークラブセントラルに入力し、進捗確認に活用

第4段階 進捗の確認 ①（目標への進み具合はどうか?）

（1）長期計画委員会、実行委員会・PJチームと進捗確認

進捗に応じて必要な計画修正、リソースの投入を検討

（2）見直しと調整事項

達成されていない理由を明確にし、未達成を達成する調整項目を検討

進捗確認のポイント

・どのぐらいの間隔で、確認するのか、その期間と頻度決める(定期確認)
・どのように進捗状況を会員に伝えるか
・誰が行動計画、年次目標の変更を承認するのか

見直しと調整のポイント

・達成された目標はなにか
・未達成の目標はなにか
・達成できなかった理由と原因
・達成す目為にどの様な調整が必要

第4段階　進捗の確認 ②（目標の進み具合をどうか）

優先項目 1.

年次目標	達成/未達成	未達成の理由	対策と計画の調整

優先項目 2.

年次目標	達成/未達成	未達成の理由	対策と計画の調整

優先項目 3.

年次目標	達成/未達成	未達成の理由	対策と計画の調整

優先項目 4.

年次目標	達成/未達成	未達成の理由	対策と計画の調整

進捗確認と見直し

・長期計画委員会チームは、定期的に確認し、計画の変更を提案する(理事会、クラブ協議会)
・毎年、全クラブ会員と共に、長期計画の見直しを行う
・クラブの決定が、長期計画に沿うものであるよう、長期計画委員会チームの意見を参考にする
・3～5年ごとの長期計画立案のプロセスを繰り返し、現計画の維持、新しい計画にするか決める

ま と め

◎残りの実効策については、長期計画の年次目標としての実施

◎ CLPの目的は、**クラブ活力の再生、クラブの活性化**

◎長期計画委員会、クラブリーダーを中心にして

年度を超えた継続的な活性化 の取り組みを

◎ 先ずは、**真摯にクラブの自己評価** を

◎会員の **クラブ満足度満足の向上** を常に念頭に

RID2790 崎山征雄PDG（習志野中央）

私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動をするためには、

ロータリアン一人一人が、ロータリーを本当に理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションを活発にして、クラブの活動につなげて行く必要がある。

クラブ　リーダーシップ　プラン

Rotary

CLP導入にあたっての具体的な説明

ご清聴有難うございました

2020-2021年度　RID2700
研　修　委　員
クラブ奉仕支援委員長　鈴木 公利

2021年1月1日

ロータリー		ローターアクト
1,177,137 2020年1月1日から 23,278減	会員	214,614 2020年1月1日から 14,230増
36,400 2020年7月1日から241クラブ増	クラブ	11,223 2020年7月1日から631クラブ増
24%	女性	51%

RID2700の会員基盤と世界・日本ロータリーとの比較

	世界	日本	RID2700	日本の全34地区中の順位	
	RIゾーン	34 zone	第1-A・第2・第3 zone	第3 zone	RID2700	全国1位
	クラブ数	36,459	2,237	61	23位	2750（東京西）97クラブ
★	会員数	1,190,307	86,871	3,182	6位	2760(愛知) 4,826名
	平均会員数	*32.65*	*38.83*	*52.16*	2位	2760(愛知) 56.78名
★	女性会員数	286,612	6,252	198	11位	2750（東京西）544名
	女性比率	24.08	7.20	6.22	25位	2750（東京西）11.63%

（MyRotary、2020 12月29日付データーより）

2019-2020
2700地区の会員数の増減

日本の34地区の会員数の推移

増加地区　2地区
減少地区　32地区
±0 地区　0地区

増加会員数 ＋　43人
減少会員数 －2，332人

純増加会員数 －2，289人
（地区平均67．3人減）

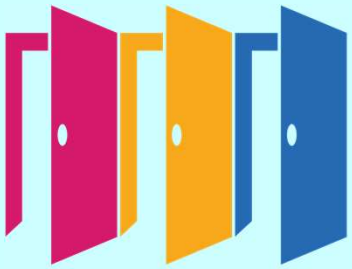
2700地区は
日本の
地区平均より
20人弱多く
減少している

2700地区の会員数の推移

増加クラブ　14クラブ
減少クラブ　37クラブ
±0 クラブ　10クラブ

増加会員数 ＋242人
減少会員数 －328人

純増加会員数 －86人
（1クラブ平均1．40人減）



ロータリーは機会の扉を開く

Rotay Opens Opportunities

「私たちのあらゆる活動が、
どこかで、誰かのために
機会の扉を開いています」
「この機会をとらえてロータリーを
成長させより強く、適応力を高め、
中核的価値観により沿った
ロータリーとなるのです」

ホルガー・クナーク
国際ロータリー会長エレクト

ロータリーのインフラ作り

6つの重点目標

ネットインフラ
- My Rotary
- DLP

組織インフラ
- CLP
- 新クラブの積極的結成

研修インフラ
- 研修委員会
- RLI

DLPの目的

地区とクラブが連携して ロータリー活動を強化・充実する。

- **クラブへの支援を より迅速かつ懇切丁寧に行う。**
- **充分に研修を受けた人材を養成する。**
- **ガバナー候補者の裾野を広げる。**
- **財団・米山・地区委員会等の活動への参加を活性化する。**
- **ガバナーの方針や事業が、効率的に強く推し進められる**

DLP の 具体的な実施計画

ガバナー補佐・地区研修リーダー・地区委員会・クラブリーダーの
明確な責任と任務を 地区組織図で確認して相互協力する

ガバナー補佐による指導力の継続性 ⇒ 3年迄の留任可能
2700地区は グループ別に 確実な引継ぎを実施していく

地区委員の継続性 3年以上～5年を 推奨
対外的奉仕実施委員会は 3年以上が必須

DLPに対応する、地区内クラブの CLPの推進

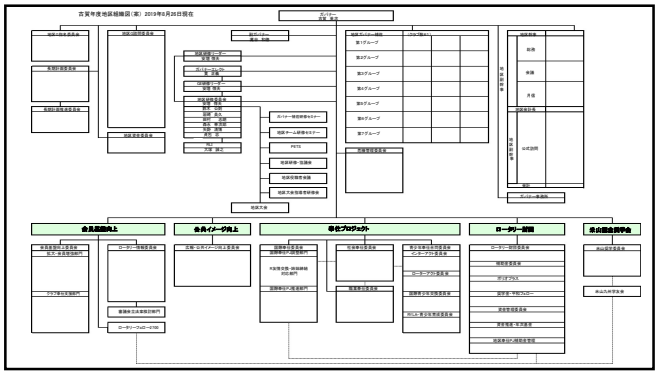
地区研修委員会の仕事　ガバナーエレクト時

当該年度ガバナーが ガバナーエレクト時の

第1回ガバナー補佐会議	11月
地区チーム研修セミナー	2月
会長エレクト研修セミナー（PETS）	3月
地区研修・協議会	4月
地区役職者会議	6月

その他、ガバナーエレクトからの指示を受けた事項。

※（本日の説明会も GEからの指示です）※



RID2700の会員基盤と世界・日本ロータリーとの比較

	世　界	日　本	RID2700	日本の全34地区中の順位	
地　域　数	41	3		RID2700	全国１位
クラブ数	36,046	2,250	61	23位	2760（東京西）98クラブ
会　員　数	1,216,548	89,288	3,253	6位	2760(愛知) 4,934名
平均会員数	33.75	39.68	53.33	2 位	2760(愛知) 58.05名
女性会員数	288,106	6,288	203	11位	2760（東京西）577名
女 性 比 率	23.68	7.04	6.24	22位	2760（東京西）11.93%

（ロータリーセントラル、3月17日付データーより）

地区研修委員会とは

ガバナーとガバナーエレクトが、クラブと地区のリーダーに研修を行うのを、
ガバナー or ガバナーエレクト の指示のもとに　準備・企画・実施　をする。

地区委員会の実施する各種研修計画全般を監督する。
各種委員会のセミナーを　合同で実施する　クラブ活性化ワークショップ

地区研修リーダーが委員長を務め、
必要に応じて研修会合や委員会機能の責務を振り分ける。

クラブ活性化ワークショップ

・2018年10月のRI理事会で決定され、
2020年7月1日より導入される「研修会の名称」です。

・ロータリー財団委員会
・会員基盤向上委員会　(従来:会員基盤向上セミナー)
・公共イメージ向上委員会

2700地区でも　**地区研修委員会の管理で　8月に**開催いたします

9.年間計画と一緒に包括的な研修計画する　とは

会員基盤向上委員会の　**クラブ研修部門**と**地区RLI**がサポートします

① クラブの指導者は地区委員会が開催する各種の研修会に出席する

② 新会員のための一貫したオリエンテーションを定期的実施する

③ 現会員のための継続的教育の機会 を提供する

④ 会員すべてに指導力開発プログラ ムを提供する

RID2700の会員基盤と世界・日本ロータリーとの比較

	世　界	日　本	RID2700	日本の全34地区中の順位	
RI ゾーン	34 zone	第1-A・第2・第3 zone	第3 zone	RID2700	全国１位
クラブ数	36,046	2,250	61	23位	2760（東京西）98クラブ
会　員　数	1,216,548	89,288	3,253	6位	2760(愛知) 4,934名
平均会員数	*33.75*	*39.68*	*53.33*	2 位	2760(愛知) 58.05名
女性会員数	288,106	6,288	203	11位	2760（東京西）577名
女 性 比 率	23.68	7.04	6.24	22位	2760（東京西）11.93%

CLP推奨の　クラブでの常設委員会

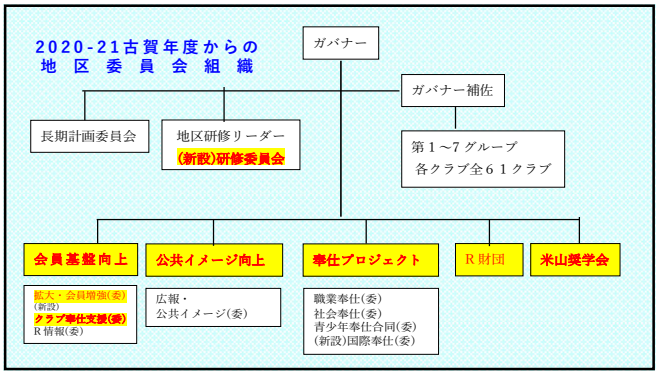
新推奨ロータリー･クラブ細則の　機能別委員会構成は

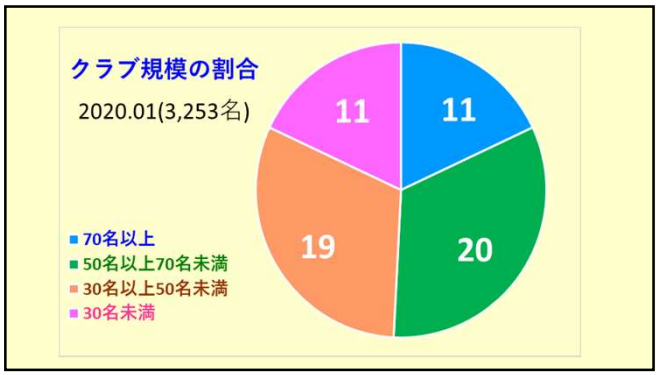
従来は　4大奉仕(5大奉仕)に基づく

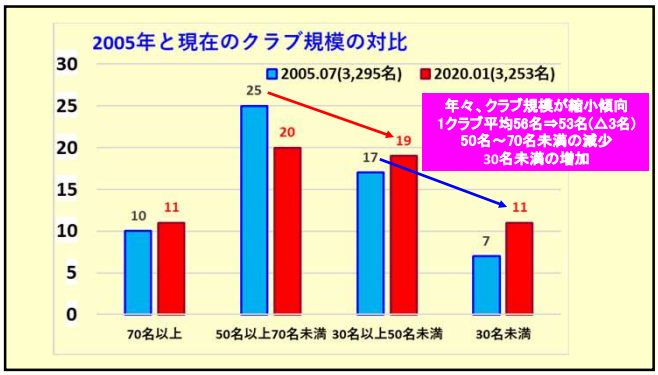
4つの常任委員会と14の小委員会

2016年規定審議会制定案 16-05

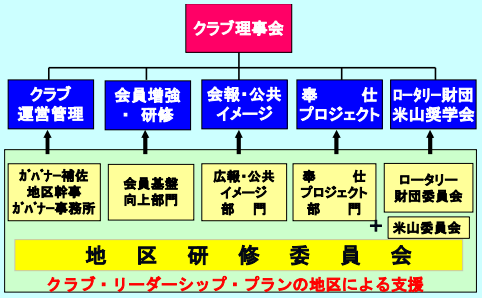
5つの常設委員会 ＋ **必要に応じての委員会**







クラブと地区組織（CLPとDLP）



CLP　2700地区のまとめ

①CLPの目的は、クラブ活力の再生、クラブの活性化

②RI推奨のCLPの委員会構成は強制ではありませんが、導入を勧めています。

③クラブ細則は、RI規定・定款に抵触しない範囲で自由に制定が出来ます。

クラブ細則の改定は、透明性･納得性の高い運営に切り替えるチャンスです。

そして、 定期的に見直す必要があります。

④クラブリーダーを中心にして 年度を超えた継続的な活性化の

取り組みが大切。

⑤真摯なクラブ自己評価と、会員満足を向上 させる活動を推進することが

成功の鍵です

- 追加資料作成中

取組みを実行する組織について

長期計画立案を担う
長期計画委員会について

RLI2700 地区代表ファシリテーター　RLI 委員会委員長　大塚誠之

１、RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）The Rotary Leadership Institute

【目的】

質の高いリーダーシップの研修を通じてロータリーの活性化と発展を願い、ロータリーへの理解とモチベーションを高める、草の根の多地区合同プログラム。

ロータリアンがロータリーへの思いを自由に語り合い個々のモチベーションを確実に高めていく語りの場となっています。

【歴史】

1992 年　米国ニュージャージー州で誕生

2008 年　日本でスタート

国際ロータリー（RI）の正式なプログラムではないが、RI 理事会に推奨されています。2002 年 2 月、ＲＩ理事会は名称に「ロータリー」を使用することを正式に許可。世界 540 地区のうち 400 を超える地区が導入しています。日本国内 34 地区　うち 28 地区が参加しています。

２、RLI カリキュラム

パートⅠ～パートⅢに分け、リーダーシップ・奉仕・会員組織の強化の 3 つの軸を中心に、各パートが進むにつれて段階的に高度化する内容になっています。

パートⅠはロータリアンとしての自分の考え方をまとめることを主な目的としています。パートⅡは自分のクラブについて考えることを主な目的としています。パートⅢはそれらを考えたうえで自分のロータリーライフをどう過ごしていくかを考えることを主な目的としています。ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立することが RLI カリキュラムです。

３、RLI の討論の独自性

・一般的セミナーのように上からの詰め込み式のセミナーではないです。
・参加者を１０人以内のグループに分け、円卓会議方式を採用します。
・一人のディスカッションリーダーが自由討論形式で進めます。
・参加者は解答の結論を求めるのではなく、課題に対する参加者の発言から自分自身の解答や方向性を見出す研修方法となっています。

4、地区研修として導入

古賀年度より 2700 地区に RLI 研修を導入され、ガバナー補佐・会長・幹事予定者は PETS 以外に RLI 研修を受講することになり、また各クラブ研修リーダーも RLI 研修を受講し、その後 RLIDL（デスカッションリーダー）研修を受講することになりました。

地区のIT化について

地区研修委員 柳井 慎己（小倉南RC）

Rotary

本日のお題

- 会員メールアドレスについて
- ガバナー月信のデジタル化について

会員
メールアドレス
について

全てのクラブは
全ての会員のメールアドレスを
整備してください

マイロータリーと
同じメールアドレスに
してください

メールアドレスの管理は
各クラブで行います

今後地区とクラブのやりとりは、メールで行います

会員
メールアドレス
について

使い方
地区から
各会員へ

地区からクラブ事務局へ
クラブ事務局から各会員へ

- 地区からの伝達事項
- ガバナー月信
- その他

会員
メールアドレス
について

使い方
国際ロータリーから
各会員へ

国際ロータリーから地区へ
地区からクラブ事務局へ
クラブ事務局から各会員へ

- ロータリー研究会
- 第3地区　会員基盤向上セミナー
- 第3地区 公共イメージ向上セミナー
- 第3地区 財団セミナー
- その他

会員
メールアドレス
について

使い方
委員会から
各会員へ

委員会から地区へ
地区からクラブ事務局へ
クラブ事務局から各会員へ

- 各種クラブ達成率
  （当該委員会は少なくとも年6回以上は報告義務）
  増強
  財団寄付
  米山寄付
- 各種委員会のセミナー案内(RLIも含む)
- その他

会員
メールアドレス
について

使い方
他クラブから
各会員へ

他クラブから地区へ
地区からクラブ事務局へ
クラブ事務局から各会員へ

- クラブが地区内全クラブに対して発信を希望する行事等

地区としてはその準備をしていますが、最終的には、PETSでの承認を求めて、承認されれば行えるようにします。

会員
メールアドレス
について

使い方
RI・米山から
各会員へ

RI・米山からクラブ事務局へ
クラブ事務局から各会員へ
(全会員への転送を義務とします)

- ロータリー財団ニュース
  財団からの直送
- よねやまだより
  米山からの直送
- その他

会員
メールアドレス
について

メールアドレスの
管理

地区は
以下のメールアドレスを整備する

- 61クラブの事務局
- 地区委員会委員長及び副委員長
- 地区カウンセラー
- 地区役職者
- 地区からの出向者

会員
メールアドレス
について

メールアドレスの
管理

各クラブの事務局は
全会員のメールアドレスを管理する

- マイロータリーと同じ
  メールアドレスとする

会員
メールアドレス
について

メールアドレスの
管理

各クラブの事務局は
全会員のメールアドレスを管理する

- マイロータリーと同じ
  メールアドレスとする

ガバナー月信に
ついて

吉田年度より
ガバナー月信は
デジタル配信とします

ガバナー月信について

西島年度の
ガバナー月信は
3月4月5月6月を
ペーパーとデジタル配信とします

ガバナー月信について

デジタル化のメリット

1. 情報量を格段に増やすことができる
2. 新しい情報が配信できる
3. RI会長や地区ガバナー等々の映像メッセージの提供もできる。
4. 地区で所有する研修映像も随時配信できる
5. 地区内クラブの諸活動を地区内他クラブに配信できる
6. 印刷費と送料の削減ができる
   年間約600万円程度の費用が
   約300円になる

ガバナー月信について

デジタル化のデメリット

1. 通信手段の無い会員は、月信が読めない。

西島年度より、地区ロータリー情報委員会がマイロータリーの登録推進に取り組み、西島年度の12月末までには　概ね登録可能な人の登録を終わらせる。

※登録不可能な会員には、地区からクラブに配信したデジタル月信を
クラブ事務局にて印刷して、会員に渡してもらう。

余談

事務局のメールアドレスは
できるだけ、
マイロータリー以外の
Webサービスに
登録しないようにしましょう!!

2022－23年度　クラブ研修リーダー研修
長期計画に基づいたクラブ研修計画の作り方

2021年12月４日

研修委員会　委員　吉行　亮二
（小倉南RC）

Rotary PEOPLE OF ACTION

クラブの長期計画（戦略計画）・年次目標

長期計画委員会

- ＲＩは、戦略計画（Strategic Plan）と呼称しているため、2700地区の委員会は、戦略計画委員会の名称になりましたが、各クラブの委員会は、長期計画委員会の名称を使います。

2700地区戦略計画委員会		
委員長	パストガバナー	灘谷　和徳（福岡平成）
	直前ガバナー	古賀　英次（柳川）
	ガバナー	貫　正義　（福岡南）
	ガバナーエレクト	西島　英利（小倉南）
	ガバナーノミニー	吉田　知弘（福岡東）
顧問	パストガバナー	安増　惇夫（宗像）

Rotary PEOPLE OF ACTION

長期計画・年次目標の準備

- クラブや地区が将来に「こうありたい」というビジョンを描き、それに添って目標と行動計画を立てるのが「長期計画（戦略計画）」です。
- まずは、「My Rotary」にあるツールを利用し、現在のクラブの状況を確認してみましょう。

Rotary PEOPLE OF ACTION

「戦略計画立案ガイド」の目的

- 企業の事業と同じように、クラブや地区が目標とビジョンの達成に向けて行動するには、長期計画（戦略計画）が必要となります。
- ロータリーで実施した調査によると、長期計画（戦略計画）を立て、それを実行しているクラブでは、実行していないクラブと比較して、より活発であり、会員の満足度が高いという結果が出ています。
- 長期的な優先事項とクラブの戦略的ビジョンを支える年次目標を立てるために、「戦略計画立案ガイド」を活用してください。

Rotary PEOPLE OF ACTION

ロータリーのビジョン声明

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、
そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

私たちは、「世界を変える行動人」として、強い目的意識
を共有しています。

（2017年９月　RI理事会24号）

Rotary PEOPLE OF ACTION

ロータリーのビジョンを達成するための戦略的優先事項

①より大きなインパクトをもたらす
- ✓ ポリオを撲滅し、残された資産を活用する
- ✓ ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- ✓ 活動成果を挙げ、それを図る能力を高める

②参加者の基盤を広げる
- ✓ 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ✓ ロータリーへの新しい経路を創り出す
- ✓ ロータリーの開放性とアピール力を高める
- ✓ 活動成果とブランドに対する認知を築く

ロータリーのビジョンを達成するための戦略的優先事項

③参加者の積極的なかかわりを促す
- ✓ クラブが会員の積極的参加を促せるように支援する
- ✓ 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- ✓ 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- ✓ リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

④適応力をたかめる
- ✓ 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ✓ ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- ✓ 意思決定における多様な考え方を育むためにガバナンスを見直す

長期計画・年次目標の立案ガイド

- 「My Rotary」に「戦略計画立案ガイド」が用意されています。
- 現状のクラブの状況を把握したら、これに沿って長期計画（戦略計画）を立てていきます。

長期計画（戦略計画）立案プロセスの概要

第１段階：現状分析 クラブの現状はどうか？	第２段階：ビジョンの作成 どのようなクラブになりたいのか？
● 取り組むべき戦略的課題を特定する。 ● クラブの長所と短所を把握する。 ● 会員の満足度とニーズを調べる。 ● 地域社会にある機会と課題を特定する。	● クラブが実現したい特徴を５～７つ挙げる。 ● クラブのビジョン声明を作る。

長期計画（戦略計画）立案プロセスの概要

第３段階：計画の作成 どのようにビジョンを実現できるか？	第４段階：進捗の確認 目標への進み具合はどうか？
● 戦略的優先事項を定める。 ● 年次目標を立てる。 ● 活動項目、実施期日、必要なリソースを挙げる。	● 年次目標に向けた進捗を確認する。 ● 目標を達成できなかった場合、その理由を特定する。 ● 行動計画を見直し、調整する。

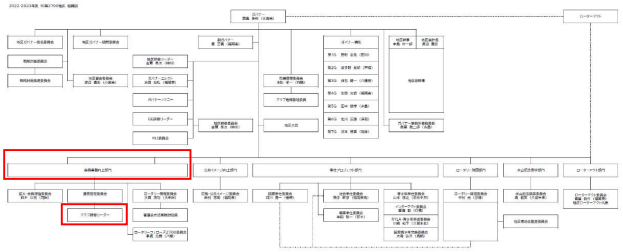
クラブ研修リーダー・クラブ研修計画

クラブ研修リーダーの誕生

2004年11月
- RI 理事会は「効果的なロータリークラブの管理」の方法としてCLP の取り組みを世界中のクラブに推奨しました。
  CLPは「クラブ活性化プラン」です。

2006年11月
- RI 理事会はクラブ会長エレクトは次年度クラブの研修計画を監督する「クラブ研修リーダー」を任命する事が出来る。
- 「クラブ研修リーダー」は、全ての研修ニーズが満たされるようにクラブ理事会等や地区研修委員会等と協力しなければならない。

地区組織図（クラブ研修リーダー）



クラブ研修リーダー（Club-Trainer） とは　ロータリー章典 8.050

目的	クラブの長期計画（戦略計画）・年次目標を達成するために ①ロータリー研修を強化・充実すること ②計画的・包括的なロータリー研修を計画し、実行すること
任命	クラブ会長エレクトが、自分の年度のクラブ研修リーダーを１名指名する。
任期	任期は原則１年ですが、連続して３期まで就任できる。 （他の役職との兼務も可）
資格要件	会長又は理事会の経験者が望ましい 地区委員長又は地区研修委員経験者も最適 ※2700地区は「ＲＬＩ」 の履修者か指名後に必ず履修する。

クラブ研修リーダー（Club-Trainer） の責務と任務

責務	クラブ研修計画を立案し、クラブの理事会承認を受けて実施・監督する。
任務 （そのために）	①地区研修委員会主催のクラブ研修リーダー研修会（12月・３月）を受講する。 ②クラブの年次目標が検討されるまでに、クラブ研修計画を提出する。 ③「クラブ指導力育成セミナー」を計画・実施する。 ④地区のＲＬＩ研修を履修する。

クラブ研修計画の作成スケジュール

➢ 2022年３月３日（木）　福岡商工会議所　会議室
本日の研修会を踏まえ、各クラブの「クラブ研修計画」の提出・確認をグループ毎に実施します。
（参加者：各クラブ研修リーダー、ガバナー補佐、地区研修委員（担当グループ））

↓

クラブ研修リーダーが各クラブの理事会へ提出し承認を得ます。

↓

2022年３月12日（土）のPETSで各クラブ会長エレクトが発表します。

クラブ研修計画とは

① 地区で開催される当該年度の地区主催・委員会主催の研修会や事業に対してクラブ会員の出席を促進し、クラブ例会等においてその報告の時間を調整してください。

② 新会員オリエンテーションを　随時開催するとともに、地区主催の新会員研修会には　出席対象者の出席を取りまとめてください。

③ 現会員に対して、ロータリー教材や卓話などを通じて、計画的・包括的な教育の機会を設けてください。また、「クラブ指導者育成セミナー」を計画してください。

④ クラブ指導者育成のために、毎年、複数名に「ＲＬＩ」の受講を促し、取りまとめてください。

①地区主催・委員会主催の研修会等

- 2022年５月21日（土）　地区研修・協議会
- 2023年１月～３月　IM（Intercity Meeting）
  午前中に2700地区の新会員を集めた研修を開催予定
- 2023年４月22日（土）～23日（日）　地区大会

写真提供：福岡市

- その他　ロータリー財団委員会地区補助金セミナー、ロータリー情報委員会セミナー、会員向上基盤セミナー、インターアクト地区研修会、RLI研修等へ参加し、クラブ例会等で報告する場を設けてください。

②新会員オリエンテーション

- 新会員オリエンテーション用の情報雑誌（ロータリー情報研究会 出版）等で随時、新会員オリエンテーションの実施をお願いします。
- ロータリーの友、ガバナー月信などの活用、My Rotaryへの登録なども合わせて指導をお願いします。
- IM（午前中の新会員研修を含む）・地区大会への積極的な参加の指導をお願いします。

③現会員に対しての研修 1

- 現会員に対して、ロータリー教材や卓話等を通じて計画的かつ包括的な教育をお願いします。
- ロータリーの特別月間に応じた卓話等の設定をお願いします。

1月	職業奉仕月間	7月	ー
2月	平和と紛争予防／紛争解決月間	8月	会員増強・新クラブ結成推進月間
3月	水と衛星月間	9月	基本的教育と識字率の向上月間 ロータリーの友月間
4月	母子の健康月間	10月	経済と地域社会の発展月間 米山月間
5月	青少年奉仕月間	11月	ロータリー財団月間
6月	ロータリー親睦活動月間	12月	疾病予防と治療月間

③現会員に対しての研修 2

- 「クラブ指導者育成セミナー」の実施をお願いします。「クラブ指導者育成セミナー」の目的は「クラブ会員の指導力を育成することで、職業における日々の仕事を充実させ、将来のクラブリーダーを育成する」ことです。
- 対象者は、自分のクラブでロータリーの指導者に関心のあるメンバーに積極的に呼びかけてください。
- 「クラブ指導者育成セミナー」で推奨される議題は以下のような内容です。

コミュニーケーションスキル、ボランティアの指導と意欲喚起、
メンタリング(個人指導)、クラブの長期計画を皆で考える、
ロータリーの倫理(４つのテスト)、クラブでのチームワーク、
クラブを元気にするために（CLP を学んで実践)、
財団や米山の理解と寄付増進、RIの目標の理解と推進　　等

③現会員に対しての研修 3

- クラブフォーラムの活用
  職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の四大奉仕部門委員会主催の「クラブ・フォーラム（討論会）」は、奉仕部門ごとに最低年1回、開催するように奨励されています。
- 各奉仕部門担当の役員・理事・委員長が討論リーダーとなり、それぞれの部門のクラブ活動の内容や課題について、会員が意見を出し合い、フリーディスカションするのが本会合の目的です。
- このように、現会員の計画的・包括的な研修の機会の一つとして、「クラブ・フォーラム（討論会）」を活用することも可能です。

④ＲＬＩ（ロータリーリーダーシップ研究会）の受講

- ＲＬＩはロータリークラブの潜在的なリーダーに向けたリーダーシップ開発プログラムを実施する多地区「草の根連合組織」です。
- 2700地区は、ＲＬＩ委員会主催で定期的に開催されています。
- 次回のＲＬＩの日程（PartⅠ～PartⅢ）
  - 2022年１月23日（日）
  - 2022年２月６日（日）
  - 2022年２月20日（日）
- 次期会長・幹事・クラブ研修リーダーを始めとして、クラブ指導者育成のために多くの会員の参加をお願いします。

クラブ研修計画の作成事例 ①

①地区主催・委員会主催の研修会等

実行項目	目的	必要なリソース・人材	担当する会員・タスク	期日
地区補助金セミナーへの参加	地区補助金申請のため	ロータリー財団委員長、社会奉仕委員長	○○委員長、▲▲会員がセミナーへ参加し、終了後、例会で報告する。	●月●日（土）
IMへの参加を増加させる。（特に入会３年以内の会員）	同地域のロータリー会員の親睦と知識を広めるため	会長・幹事、出席委員長	○○会長・●●幹事、▲▲委員長が声掛けを行う。	IM開催日：●月●日（土） 委員会報告：●月●日例会時

クラブ研修計画の作成事例 ②

②新会員オリエンテーション

実行項目	目的	必要なリソース・人材	担当する会員・タスク	期日
新会員オリエンテーションの実施	新会員の親睦と知識を広めるため	「今日からロータリアン」「月信」「ロータリーの友」「MyRotary登録手順」、ロータリー情報委員長	○○委員長	７月、10月、１月、４月の第１例会後
IM参加	同地域のロータリー会員の親睦と知識を広めるため	出席委員長	○○委員長が新会員に出席義務であることを伝える。	●月●日まで

クラブ研修計画の作成事例 ③

③現会員に対しての研修

実行項目	目的	必要なリソース・人材	担当する会員・タスク	期日
特別月間に対応した卓話の依頼	特別月間に応じた卓話を行うことで、クラブ会員のロータリーへの理解と知識を深めるため	プログラム委員長、卓話者（ロータリー財団地区委員長、米山地区委員長など）	○○委員長、特別月間に応じたプログラムを作り、卓話者や教材の準備を行う。	●月●日：▲▲▲（卓話者：××地区委員長）
クラブ指導者育成セミナーの実施	クラブ会員の指導者の育成、将来のクラブリーダーの育成のため	クラブ研修リーダー、会長・幹事、○○委員長、参加者（●月●日までに事務局より希望者を募る）	第１回議題：●●について 第２回議題：●●について	第１回：●月●日（火）例会後実施 第２回：●月●日（火）例会後実施
四大奉仕委員会クラブフォーラムの実施	それぞれの部門の内容や課題に対してフリーディスカッションを通じ、理解を深めるため	職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の各委員長	職業奉仕：▲▲会員、××会員、・・・ 社会奉仕：○○会員、××会員、・・・	職業奉仕：●月●日（火）例会後実施 社会奉仕：●月●日（火）例会後実施

クラブ研修計画の作成事例 ④

④ＲＬＩの受講

実行項目	目的	必要なリソース・人材	担当する会員・タスク	期日
ＲＬＩの受講	将来のクラブリーダーの育成のため	次期会長・幹事、クラブ研修リーダー、クラブ研修リーダーが指名するもの	クラブ研修リーダー、該当者にＲＬＩの日程の告知、テキストの準備を行う。	第１回：●月●日 第２回：●月●日 第３回：●月●日
ＲＬＩ－ＤＬ研修の受講	ディスカッションリーダーの育成のため	ＲＬＩPart Ⅰ～Ⅲのすべてを受講したものから選定する。	クラブ研修リーダー、上記受講者のうち、ＤＬ研修の受講者を決定し、日程を告知する。	●月●日

地区研修委員会（７グループ担当）

- 各クラブに戻り、クラブの特色を活かしたクラブ研修計画の作成をお願いします。
- 不明な点は、クラブ研修委員担当・各グループ担当まで遠慮なく確認ください。

グループ担当	氏名	研修内容担当
第1グループ担当	鈴木　公利　（苅　田RC）	会員基盤向上
第2グループ担当	吉行　亮二　（小倉南RC）	クラブ研修委員
第3グループ担当	柳井　慎己　（小倉南RC）	ＩＴ
第4グループ担当	青屋　信作　（福岡東RC）	クラブ研修委員
第5グループ担当	田村　志朗　（福岡東RC）	広報・公共イメージ
第6グループ担当	矢野　清博　（甘　木RC）	ＤＬＰ・ＣＬＰ
第7グループ担当	新嶋　秀夫　（福岡東RC）	ＤＬＰ・ＣＬＰ

ご清聴ありがとうございました。

研修委員会　委員　吉行　亮二
（小倉南RC）

Rotary